

会場やアンケートで頂いた質問への回答

【ハード面について】

		質問	回答
1	会場	想定浸水に下水機能は考慮されているのか	ポンプ所は使えないものとしています。
2		ハザードマップは作って終わりではなくハード面の対策は	ソフト対策だけでなくハード整備にも引き続き取り組みます。
3		下水処理機能や汚水や雨水についてどうなっているのか	江戸川区内に降った雨は、下水道に一度雨の水が流れ込んで、下水道のポンプ場、最終的な処理場でポンプアップをして川や海に流します。江戸川区内は1時間に50mm程度の雨であれば下水で処理ができます。洪水・高潮の場合、ポンプ場も浸水してしまいます。発電機等が浸水しない高さまでは排水することができますが、発電機等を超える高さまで浸水してしまうと排水ができなくなります。
4		スーパー堤防は水害対策のために作られているのか	篠崎公園を中心としたエリアで、国（スーパー堤防整備事業）と区（土地区画整備事業）で、スーパー堤防事業を進めています。洪水になったとしても堤防が壊れない機能があります。堤防が全部できてしまえば堤防決壊がなくなるので、壊滅的な被害がなくなりますが、なかなか進まない（時間がかかる）状況です。
5		スーパー堤防(400年かかる...) もっと早くできる堤防強化は	河川を管理している国や東京都とも連携し、ハード整備もしっかり行っています。
6		水のひき方、排水機能はどうなっているのか	江戸川区内に降った雨は、今のシステムでいけば、下水道に一度雨の水が流れ込んで、下水道のポンプ場、最終的な処理場でポンプアップをして川や海に流します。江戸川区内は1時間に50mm程度であれば適切に下水で処理ができます。
7		排水機能を高めるための取り組みはあるのか	洪水・高潮の場合、ポンプ場も浸水してしまいます。洪水・高潮の場合、ポンプ場も浸水してしまいます。発電機等が浸水しない高さまでは排水することができますが、発電機等を超える高さまで浸水してしまうと排水ができなくなります。
8		今回のハザードマップは対策をしても危ないという意味なのか	江戸川、荒川については、約70年前のカスリーン台風以上の雨は降ったことがありません。一方、地盤沈下の話もしましたが、堤防のかさ上げを行いました。今回のハザードにつきましては、平成27年水防法が改正されて想定しうる最大規模の洪水、高潮（確率論でいえば1000年に1度以上の確率）の影響を含めております。最悪の事態を想定し、浸水の深さ・時間を最大の値で示しています。すべての治水が完璧にできればまた状況は変わってくるかもしれませんが時間がかかってしまいます。
9		堤防の高さは	高潮の対策の高さは、荒川基準となりますが、5.1mと決まっておりますのでそれより1～2m高くなっています。（基準はAP）
10		地震による地滑りが原因で堤防が決壊しないための対応はあるのか	過去に液状化による地滑りを起こし、堤防が決壊した事がありました。この教訓を受け東京都は2022年の完成を目指し、堤防強化を行っております。堤防の前に、地盤改良を行い液状化により堤防がひきずられないように改良しています。

		質問	回答
11	会場	どのくらいの雨が降ったら川に排水するのか	内水の場合、下水道がしっかり網羅されており、1時間あたり50mmの雨は新川のポンプ場や葛西の水再生センターなどから水を流して海の方に出しています。もっとすごい大雨が降ると新川のポンプ場から中川に排水している。時間100mmとかになってしまうと（5.6年前江戸川区役所でも時間94mmの雨が降った）床下浸水もありましたが、内水の場合は、じわじわわかるだけで大きな浸水にはいたらないという結果になっています。（冊子31ページ・平成12年のときの東海豪雨相当の雨量）
12		自家発電でポンプ場から排水できるのか（民間委託はあるのか）	江戸川区には7つのポンプ場（排水場）がありますが、深い水につかってしまう場合、自家発電が使えない、ポンプが停止するとポンプが使えないということで継続時間が長くなっている。設備をしっかりと作っても、発電機が動いたとしてもどうやってエネルギーを供給するか、今は重油で発電するようになっているので、なかなかその答えがでていない状況であります。
13		北小岩1丁目のスーパー堤防は浸水しないのか	スーパー堤防の高台の部分は浸水しませんが、千葉街道に面したところは反対側と同じくらいのところまでは浸水すると考えられます。表示できない部分もありますので、その地区にお住まいの方に関しては、個別に対応したいと考えております。
14		治水対策はどうなっているのか	河川はどんな大きな雨が降ったときどう守るかという確率論で行っております。江戸川については、200年に1度相当の雨が降ったときにも、洪水が起こらないようにしようとする河川の整備目標があります。治水はなかなか行っていない状況です。今回お伝えした想定最大は、1000年に1度を超える治水の規模をはるかに超える洪水や高潮が起きてしまうかどうか（河川整備がみつからない状況の中で）自分たちの命を自分たちで守れないということになりますので、水防法が改正されてハザードマップでお知らせさせていただいています。
15		市川橋の老朽化は大丈夫なのか	市川橋はオリンピックの頃に建設されて古いのではないかとご質問もありましたが、国が計画を立てて整備をしています。老朽化についてはしっかり対応（延命措置5年に1度）しているのご理解頂ければと思います。
1	アンケート	スーパー堤防の効果はまだ先のことなのか？	部分的な堤防でも高台として一時的な避難先になると考えています。
2		7つの排水ポンプの説明がわからなかったです。大雨、水害の時は動かなくなってしまうということ？台風が来てもポンプがあれば大丈夫とっていましたが役に立たないということでしょうか？	洪水・高潮の場合、ポンプ場も浸水してしまいます。発電機等が浸水しない高さまでは排水することができますが、発電機等を超える高さまで浸水してしまうと排水ができなくなります。
3		自家発電装置で排水できるのか？	